

新緑ニューズ

病院の理念
確かな医療技術
やさしい対応
地域への貢献

〒226-0025 横浜市緑区十日市場1726-7
TEL. 045-984-2400 (代表) FAX. 045-983-4271



地域の皆さまに安心して受けただけの外科診療を目指して～大腸がん手術と鼠径ヘルニア手術～

副院長 消化器センター長 外科・消化器外科部長 齊藤 修治

当院の外科では、主にお腹の病気を中心に、がんの治療から救急疾患まで幅広く診療を行っています。がんでは、日本人に最も多い大腸がんを中心に、胃がんなどにも対応しています。また、鼠径ヘルニア、胆嚢結石症、胆嚢炎、急性虫垂炎、腸閉塞など、良性疾患や救急疾患の治療も行っています。

近年、日本では消化器外科医の減少が問題となっています。そのような中で、当院では2020年から消化器外科医7名体制で診療を行っており、手術件数も年々増加しています。2025年には消化器外科手術が678件、腹腔鏡下手術が613件となりました(図1)。



当院には、日本内視鏡外科学会が認定する「技術認定医」が5名在籍しています。技術認定医とは、腹腔鏡下手術などにおいて高い技術と経験を認められた外科医です。当院では腹部手術の90%以上を腹腔鏡下に行っており、傷が小さく、体への負担が少ない手術を心がけています。今回は、当院が特に力を入れている「大腸がん治療」と「鼠径ヘルニア手術」についてご紹介します。

大腸がん治療について

大腸がん手術では、2025年に108例の手術を行い、そのすべてを腹腔鏡下手術で行いました(図2)。手術には必ず大腸手術を専門とする技術認定医が参加し、安全性と質を保つよう努めながら、全国的に見てもまれな腹腔鏡下手術率100%を達成しました。また、肛門近傍の直腸がん患者さんに対しても極力肛門を温存し、腸閉塞で発症した大腸がん患者さんには大

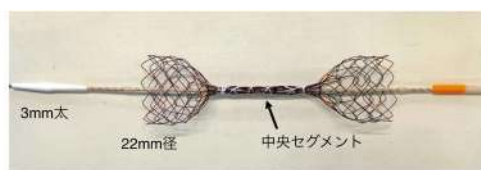


図3 新規大腸ステント (segmental release type) 直径約3mmに畳まれたステントを狭窄部に通し、展開すると22mmの太さになる。両はじのセグメントを展開したところ、中央セグメントは未展開。

腸ステント治療(図3)を駆使して、できる限り人工肛門を避けられるよう、一人ひとりの病状に応じた治療方針を検討しています。

鼠径ヘルニア手術について

鼠径ヘルニアは、足の付け根がふくらむ病気で、「脱腸」とも呼ばれます。自然に治ることはなく、症状がある場合には手術が必要になります。

当院では2023年9月に「そけいヘルニアセンター」を開設しました。手術件数は2024年度に246件(病院での手術件数データで神奈川県内3位、全国25位)、2025年度には307件と全国有数の手術件数に至りました(図4)。当院には、鼠径ヘルニアを専門とする技術認定医が3名在籍しています。これは全国的にも珍しい体制です。手術には必ず技術認定医が参加し、手術の安全性と質を保つよう努めています。また、患者さんの負担を少なくするため、日帰りや1泊2日の短期滞在手術を中心に、手術までの待機期間も2~4週間程度となるよう調整しています。



これからも地域に貢献できる外科を目指して

これからも、安全で質の高い腹腔鏡下手術を提供し、地域の皆さまに安心して受診していただける外科診療を目指してまいります。

栄養科は、管理栄養士 8 名と事務職員 1 名が在籍し、入院・外来患者さんの栄養・食事に関する支援を行っています。

入院中は、病状や治療内容、食事摂取状況に応じて、適切な栄養管理を実施しています。十分な食事量の確保が難しい場合には、看護師・リハビリスタッフ・薬剤師など多職種と連携し、嚥下機能に応じた食事形態の調整や栄養補助食品の提案を行うなど、栄養状態の維持・改善に努めています。

外来では、糖尿病・高血圧・脂質異常症などの生活習慣病をはじめ、消化器疾患術後の患者さんなどを対象に栄養指導を行っています。個人の生活習慣や食環境に配慮し、無理なく継続できる食事療法を提案できるよう心がけています。

食事は、疾病の予防や治療を支えるだけでなく、日々の楽しみや生きる力につながる、生活の質（QOL）を支える大切な要素です。わたしたち管理栄養士は、多職種と密に連携しながら、一人ひとりの状態や生活背景に寄り添った個別性の高い栄養管理に取り組むことを目標とし、患者さんやご家族が安心して「食べる喜び」を感じられるよう、これからも優しく質の高い栄養支援を目指していきたくと思っています。



症例報告会

第 20 回 消化器センター症例報告会を実施しました

この度、地域の先生方をお招きし、節目の第 20 回となる「消化器センター症例報告会」を開催いたしました。本報告会は、ご紹介いただいた患者様の治療経過や診療内容をご報告し、地域医療機関との連携強化を目的として毎年開催しているものです。当日は聴講スタッフを含め約 40 名が参加し、症例報告後には医師同士による意見交換が行われ、盛況のうちに終了いたしました。2025 年度は、内視鏡件数の増加に加え、大腸悪性腫瘍手術実績 100 件超、そけいヘルニア手術実績 300 件超を達成し、地域の先生方との連携強化が成果として表れる一年となりました。今後も顔の見える関係づくりを大切にし、地域の皆様に安心して受診いただける医療提供体制の充実に努めてまいります。



満足度調査

2025 年度外来患者満足度調査

当院では昨年 9 月から 10 月に外来満足度調査を実施し 506 名の方から回答をいただきました。「満足+やや満足」評価は 84%と日本病院協会 2025 年 QI 報告全国平均 82.5%を上回りました。

病院体制が変わる中、皆さまのご理解ご協力のもと、例年通り高い満足評価を賜り大変ありがたく思っております。頂きましたお声を基に、今後も皆さまに愛され信頼される病院を目指して職員一同精一杯努力して参ります。詳細は当院ホームページまたは右の QR コードからご覧ください。



調査結果 PDF

受付時間変更

受付時間変更のお知らせ

2026 年 7 月 1 日より受付時間を下記の通り変更します。ご理解・ご協力いただけますようお願いいたします。
※予約・救急の患者さまはこの通りではありません。

現在
午前 7:30 ~ 11:30
午後 1:00 ~ 4:00



変更後
午前 8:00 ~ 11:30
午後 1:00 ~ 4:00

※土曜日は午前のみ